

平成26年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月13日

上場会社名 総合商研株式会社

上場取引所 東

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部部長 (氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日

平成26年4月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第2四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第2四半期	10,181	△0.2	609	6.2	611	2.1	370	3.8
25年7月期第2四半期	10,199	14.8	573	3.1	599	7.3	357	18.4

(注)包括利益 26年7月期第2四半期 437百万円 (3.6%) 25年7月期第2四半期 422百万円 (29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第2四半期	125.51	—
25年7月期第2四半期	120.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年7月期第2四半期	10,606		2,263		21.3
25年7月期	7,254		1,859		25.6

(参考)自己資本 26年7月期第2四半期 2,259百万円 25年7月期 1,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年7月期	—	7.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.9	270	18.7	300	15.0	180	13.1	60.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期2Q	3,060,110 株	25年7月期	3,060,110 株
② 期末自己株式数	26年7月期2Q	124,562 株	25年7月期	104,521 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期2Q	2,954,375 株	25年7月期2Q	2,955,725 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は輸出が持ち直しに向かい各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し景気の回復基調が続くことが期待されております。一方で円安によるエネルギーコストの上昇や消費税増税等、企業にとっての利益圧迫要因は引き続き存在し、経営は予断を許さない状況にあります。

当社グループが位置する印刷業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、宣伝手法が紙媒体から電子媒体へ移行し始めており、消費者の動向を的確に捉え、新しい切り口でのサービス提供を検討する必要性が高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、パッケージ・ラベル印刷やインスタプロモーションといった新たな販促媒体を取り入れ、チラシに留まらない多様な販促手法の提案による受注拡大を図ると共に、年賀状印刷事業の安定的な生産体制の整備と適切な運営に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,181百万円（前年同四半期比18百万円減）となりました。

利益につきましては、年賀状の販売が前年度に引き続き好調に推移したこと、採算管理を徹底しコストダウンに努めたこと等により、営業利益は609百万円（前年同四半期比35百万円増）、経常利益は611百万円（前年同四半期比12百万円増）、四半期純利益につきましては370百万円（前年同四半期比13百万円増）と、それぞれ増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規顧客獲得やパッケージ・ラベル印刷、インスタプロモーション等の新規事業による売上獲得があったものの、既存顧客の販売予算縮小等により、当事業の売上高は5,096百万円（前年同四半期比247百万円減）となりました。

利益につきましては、外注費削減を中心に損益管理を徹底したことにより、営業損失は79百万円（前年同四半期の営業損失は102百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、パック年賀状の取扱件数が497万パックと前年同四半期比1万パック増加となり、名入れ年賀状の取扱件数につきましては、日本郵便株式会社からの堅調な受注により前年同四半期比6万件増加の141万件となったことから、当事業の売上高は5,059百万円（前年同四半期比227百万円増）と、増収となりました。

利益につきましては、営業利益は850百万円（前年同四半期比5百万円増）と増益となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行った結果、売上高は25百万円（前年同四半期比1百万円増）、営業損失は6百万円（前年同四半期の営業損失は4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,352百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,079百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が1,642百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は8,343百万円となり前連結会計年度末に比べ2,948百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業の仕入に伴う支払手形及び買掛金が2,454百万円増加したこと、未払法人税等が212百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,263百万円となり前連結会計年度末に比べ403百万円増加しました。これは主に利益剰余金が347百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は2,325百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,079百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,689百万円(前年同四半期は1,491百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の増加が1,644百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、仕入債務の増加が2,454百万円、税金等調整前四半期純利益が606百万円、減価償却費が180百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は314百万円(前年同四半期は333百万円の支出)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出が286百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は296百万円(前年同四半期は217百万円の収入)となりました。これは長期借入れによる収入が500百万円あったことにより資金が増加したことに対し、短期借入金の純減額が300百万円、長期借入金の返済による支出が441百万円あったこと等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の業績予想につきましては、平成25年9月12日付「平成25年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,724	2,325,758
受取手形及び売掛金	1,489,154	3,131,510
商品及び製品	3,572	15,231
仕掛品	12,472	3,428
原材料及び貯蔵品	550,512	537,993
その他	120,721	562,096
貸倒引当金	△11,742	△11,480
流動資産合計	3,411,415	6,564,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,643	662,633
土地	1,010,099	1,010,099
その他(純額)	984,143	1,089,226
有形固定資産合計	2,673,886	2,761,958
無形固定資産		
その他	155,922	149,828
無形固定資産合計	155,922	149,828
投資その他の資産		
投資有価証券	617,050	720,488
関係会社株式	18,363	19,757
その他	410,606	431,634
貸倒引当金	△32,529	△41,410
投資その他の資産合計	1,013,490	1,130,469
固定資産合計	3,843,299	4,042,257
資産合計	7,254,715	10,606,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,175,317	3,629,765
短期借入金	1,192,932	953,615
未払法人税等	54,135	266,522
賞与引当金	16,438	11,845
その他	460,290	1,001,332
流動負債合計	2,899,114	5,863,081
固定負債		
長期借入金	1,933,551	1,931,002
資産除去債務	7,756	7,838
その他	554,463	541,535
固定負債合計	2,495,771	2,480,375
負債合計	5,394,885	8,343,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	441,153	441,153
利益剰余金	848,041	1,195,200
自己株式	△29,184	△39,604
株主資本合計	1,671,930	2,008,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,817	250,407
その他の包括利益累計額合計	183,817	250,407
少数株主持分	4,081	4,260
純資産合計	1,859,829	2,263,337
負債純資産合計	7,254,715	10,606,794

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
売上高	10,199,693	10,181,307
売上原価	7,178,699	7,031,740
売上総利益	3,020,994	3,149,566
販売費及び一般管理費		
運賃	609,794	621,262
給料及び手当	756,226	783,183
賞与引当金繰入額	9,111	9,907
その他	1,071,895	1,125,831
販売費及び一般管理費合計	2,447,027	2,540,184
営業利益	573,967	609,382
営業外収益		
受取利息	39	518
受取配当金	3,596	3,935
受取手数料	17,408	18,268
受取賃貸料	6,982	8,039
作業くず売却益	9,200	9,043
貸倒引当金戻入額	14,734	—
持分法による投資利益	784	1,393
その他	5,235	3,343
営業外収益合計	57,981	44,543
営業外費用		
支払利息	32,930	31,247
貸倒引当金繰入額	—	8,618
その他	—	2,499
営業外費用合計	32,930	42,365
経常利益	599,017	611,560
特別損失		
固定資産除却損	851	44
投資有価証券評価損	6,987	4,999
特別損失合計	7,839	5,044
税金等調整前四半期純利益	591,178	606,515
法人税、住民税及び事業税	254,780	258,694
法人税等調整額	△21,279	△23,160
法人税等合計	233,501	235,533
少数株主損益調整前四半期純利益	357,676	370,981
少数株主利益	372	178
四半期純利益	357,304	370,802

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	357,676	370,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,874	66,589
その他の包括利益合計	64,874	66,589
四半期包括利益	422,550	437,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,178	437,392
少数株主に係る四半期包括利益	372	178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	591,178	606,515
減価償却費	198,336	180,775
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,734	8,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	208	△4,592
受取利息及び受取配当金	△3,636	△4,453
投資有価証券評価損益(△は益)	6,987	4,999
固定資産除却損	851	44
支払利息	32,930	31,247
為替差損益(△は益)	△1,552	△35
持分法による投資損益(△は益)	△784	△1,393
売上債権の増減額(△は増加)	△1,630,391	△1,644,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,267	9,904
仕入債務の増減額(△は減少)	2,200,836	2,454,448
未払消費税等の増減額(△は減少)	103,236	30,229
その他	184,021	99,061
小計	1,622,223	1,770,657
利息及び配当金の受取額	3,636	4,453
利息の支払額	△32,822	△30,610
法人税等の支払額	△101,071	△54,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,491,965	1,689,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	—
有価証券の売却による収入	22,550	—
有形固定資産の取得による支出	△292,752	△266,933
有形固定資産の除却による支出	△25	△35
投資有価証券の取得による支出	△3,928	△4,019
貸付けによる支出	△240	△22,643
貸付金の回収による収入	405	3,768
無形固定資産の取得による支出	△59,206	△20,045
差入保証金の差入による支出	△1,135	—
差入保証金の回収による収入	—	4,387
その他	916	△8,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,416	△314,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△300,000
長期借入れによる収入	940,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△370,586	△441,866
リース債務の返済による支出	△28,084	△20,703
配当金の支払額	△23,282	△23,503
自己株式の取得による支出	△57	△10,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	217,989	△296,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,376,605	1,079,034
現金及び現金同等物の期首残高	1,185,377	1,246,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,561,983	2,325,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,344,021	4,831,296	10,175,317	24,376	10,199,693	—	10,199,693
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,274	3,106	11,380	2,060	13,441	△13,441	—
計	5,352,295	4,834,402	10,186,698	26,436	10,213,134	△13,441	10,199,693
セグメント利益 又は損失(△)	△102,930	844,668	741,737	△4,018	737,719	△163,752	573,967

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,752千円には、セグメント間取引消去2,783千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,535千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,096,716	5,059,027	10,155,744	25,563	10,181,307	—	10,181,307
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,370	3,209	12,580	2,670	15,251	△15,251	—
計	5,106,087	5,062,237	10,168,324	28,233	10,196,558	△15,251	10,181,307
セグメント利益 又は損失(△)	△79,561	850,644	771,083	△6,228	764,854	△155,472	609,382

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△155,472千円には、セグメント間取引消去2,394千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△157,866千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。